

通学路の危険箇所 地図化

みやき町

みやき町の三養基高の生徒5人が12日、総合学習で作成した中原中校区の通学路の危険箇所マップを、同校に贈った。交通事故の危険がある箇所を写真や図で分かりやすく示しており、同校では生徒用玄関に掲示し、登下校時の注意喚起などに役立てる。

マップは、校区の地図を手描きした上に、事故のり

三養基高生が
中原中に贈呈

スクが高い場所の写真を添付。「左右が見にくい」「曲がるときには車に注意」「道が狭い」「段差が危ない」などのコメントを書き込んでいる。危険箇所は中学生にアンケートを取り、高校生が実際に歩いて調査した。

マップを作成したグループのリーダーで1年の牟田口寛大さんは「ぱっと見て危険な場所が分かるように作った。みんなが見られる

危険箇所マップを贈呈した三養基高生と受け取った中原中生
＝みやき町の中原中



場所に掲示してほしい」と話した。

受け取った中原中の生徒会長で2年の吉田亜門君は

「危ない所を先に知っておくのが安全につながる。活用したい」と感謝した。

(瀬戸健太郎)